

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
下笠居地区

平成23年2月

香川県高松市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	下笠居地区コミュニティ協議会によるコミュニティセンターの利用者数	人/年	177	212	180	確定 見込み ●	△	あり ● なし	322	H23年2月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	コミュニティプランを進めていたための検討会が開催されるなど、地域コミュニティに対する関心が高まり、まちづくりの機運の向上に寄与した。
指標2	自主防災組織の加入率世帯	%	79.4 (1,957世帯)	90 (2,218世帯)	78.2	確定 見込み ●	×	あり なし ●	78.3	H23年2月	△	評価値の見込み推計が甘かった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自主防災組織加入世帯数は若干増加したが、新規自治会が結成されたため、全世帯数も増加したため、加入率では目標値を達成することができなかった。
指標3	既往最高潮位(高松港2.46m(160年確立規模))に対する浸水面積	m ²	312,000	254,000	254,000	確定 ● 見込み	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	既往最高潮位に対する浸水面積が解消されたことにより、安全性が高まっただけでなく、地域住民の防災に対する意識向上にも役立った。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	自主防災組織が実施した防災研修の参加人数	人	70	/	146	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	防災施設が整備されたことにより、住民の防災に対する意識が高まり、防災研修の参加人数が倍増した。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	下笠居コミュニティセンター利用者数増加	下笠居コミュニティプラン研究会	地域で進めていくまちづくりの今後の方向性について確認することができた。	今後も継続して地域のまちづくりについて考えていくことで、住民主体のまちづくりの意欲を持続させる必要がある。
	避難所としての案内の周知徹底	防災研修会, 救命講習会	災害発生時の対応の仕方や避難場所の確認ができた。	避難場所としての機能や役割について周知・啓発を行い、いざというときに備える。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	自主防災組織加入世帯増加	自治会加入促進運動, コミュニティだより(広報紙)発行	新たに自治会に加入した世帯が自主防災組織へ加入した。	広報やホームページなどで主防災組織の重要性を周知徹底する。
	未拡幅の道路整備	安全安心マップ作成, 危険箇所の点検	地域内での危険箇所が浮き彫りになり, 今後の道路整備に向けての資料となった。	未拡幅の道路整備の早期実現に努める。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項